

仙台フィルハーモニークラブの活動

担当者名 事務局長 高橋 望

1. 沿革

1995年（平成7年）5月の仙フィル定期演奏会に、現事務局長・高橋の発案により、ファンクラブ設立を呼びかけるチラシを折り込む。同時にスタッフを公募。即座に10名のスタッフが集まり、設立の準備が始まる。同年9月、設立総会開催。約40名の会員で「仙台フィルハーモニークラブ（SPC）」が発足する。

<設立の趣旨>

下記の“5つの目標”に込められている。

- 1) 仙台フィルを熱烈にサポートする
- 2) 仙台フィルとファンとの交流を図る
- 3) 仙台フィルの情報をファンに届ける
- 4) ファンの声を仙台フィルに届ける
- 5) 仙台フィルのファンの拡大に努める

以来12年、様々な活動を行っているが、現在の体制は

会長：工藤一郎

事務局長：高橋 望

スタッフ17名

サポートスタッフ（イベント時のみ手伝い）7名

現在会員数150名

2. 活動状況

全国唯一（？）の、純粋にファンのみによる勝手連的組織のため悩みも多いが、上記の目標を会員自ら楽しみながら実現する事をモットーに活動している。

<定期的な活動>

- ・会報「PHLHARMONY CLUB」の発行。（年3回）
- ・「SPC通信」（会報の号外）の発行。（定期演奏会毎）
- ・楽員との交流会（「ふれあい懇談会」「忘・新年会」など）の開催（年1～2回）。
- ・「おもしろセミナー」（楽員による講座とミニコンサート）の開催（年1～2回）。
- ・楽員による室内楽コンサートの主催。（年1回程度）。
- ・「SPC大賞」（世界一権威のない音楽賞）の選考。
- ・楽員主催のコンサートに賛助金を贈呈。

<これまで行った不定期のイベント>

- ・「オーケストラは街のたからもの」コンサートの共催。仙台フィルユニオン、異業種交流会「はなもく七三会」と実行委員会を結成、96年から毎年1回、5年間続ける。
- ・2000年の仙台フィルヨーロッパ演奏旅行に追っかけツアーを企画。約30名が参加。